



2022年5月12日

各位

会社名 神田通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神部 雅人
 (コード番号：1992 東証スタンダード市場)
 問合せ先 執行役員管理本部長 田辺 正行
 電話番号 (03) 3252-7731

繰延税金資産の計上、通期連結業績予想と実績との差異及び 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年3月期において繰延税金資産の計上を行うとともに、2022年2月7日に公表いたしました2022年3月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年3月期の期末配当について、2022年6月29日開催の第85期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額に△265百万円（△は利益）を計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想と実績との差異

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	6,000	200	220	130	53円72銭
実績 (B)	5,945	370	443	563	234円12銭
増減額 (B-A)	△55	170	223	433	
増減率 (%)	△0.9	85.2	101.4	333.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	6,545	497	568	331	137円51銭

(2) 業績予想との差異理由

当初予想では半導体（関連部品含）不足による交換機の生産遅れによる納期への影響が見込まれましたので、業績へのリスクを見込み、業績予測を立てて事業を展開してまいりました。

売上高につきましては、期初に懸念していた、半導体不足に伴う製品供給の遅れが映像事業に影響し、前回予想を下回りました。

利益面につきましては、付加価値の高い保守工事・保守料の売上が計画を上回ったことに加え、利用料収入の増加により、営業利益、経常利益は前回予想を上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の計上により、前回予想を上回りました。

3. 剰余金の配当について

(1) 2022年3月期期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年11月8日発表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	2022年3月31日	2021年3月31日
1株当たり配当金	60円	20円	35円
配当金の総額	142,188千円	—	84,690千円
効力発生日	2022年6月30日	—	2021年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに安定的な配当を継続することを基本方針としております。

2022年3月期の期末配当につきましては、当初の通期連結業績予想を上回ったため、前回公表において20円としておりました期末配当を1株当たり60円とさせていただきます。

以 上